



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年10月27日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
コード番号 3593 URL <https://www.hogy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川久保 秀樹
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 最高財務責任者 (氏名) 藤田 泰介
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-6229-1300

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	18,857	3.9	1,277	38.7	1,140	44.0	907	51.4
2025年3月期中間期	19,619	0.4	2,083	12.3	2,036	14.2	1,867	7.8

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 85百万円 (—%) 2025年3月期中間期 2,239百万円 (38.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	42.11	—
2025年3月期中間期	80.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	94,919	73,303	77.2
2025年3月期	97,895	74,332	75.9

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 73,294百万円 2025年3月期 74,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	20.00	20.00	20.00	20.00	80.00
2026年3月期	23.75	23.75			
2026年3月期(予想)			23.75	23.75	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	39,240	0.3	2,770	27.3	2,590	28.9	2,030	33.5
								94.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	22,535,463 株	2025年3月期	22,535,463 株
2026年3月期中間期	975,691 株	2025年3月期	975,631 株
2026年3月期中間期	21,559,822 株	2025年3月期中間期	23,175,606 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における事業環境は、依然として厳しい状況が続きました。医療機関においては、資材や光熱費の高騰に加え、2024年度診療報酬改定や医師の働き方改革が本格化したことから、人手不足や人件費増加といった問題が顕在化し、経常赤字に陥る病院も増加しています。こうした中、短期的には材料費を含むあらゆる領域でのコスト削減が検討されているケースが少なくありません。一方で、中長期的には病院の機能再編を含む構造的改革が求められており、実際に地域単位で手術の集約化が進行しています。こうした病院では、手術室関連業務の生産性向上や稼働率向上が重要な経営テーマともなっています。

このような状況下、当社グループにおきましては、最重要顧客であるオペラマスター施設を含む重点施設において他社の安価な手術材料への置き換えが検討されるなど、競争が激化していることが課題となっておりました。これに対し当中間連結会計期間においては顧客基盤の維持・強化を最優先とした販売戦略を展開してまいりました。この結果、短期的な材料費抑制を求められる厳しい販売状況は続いているものの、オペラマスター契約の解約は発生せず、新規契約も獲得するなど基盤強化に着実な成果が得られました。これらオペラマスター施設を中心に、最重要戦略製品である「プレミアムキット」は当中間連結会計期間におきましても売上が拡大しており、今後も増売が見込まれております。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は18,857百万円（前期比3.9%減）となりました。キット製品の売上高は12,681百万円（同2.4%減）、内「プレミアムキット」の売上高は6,713百万円（同3.1%増）となりました。売上原価は2023年4月より稼働を開始した新キット工場のⅡ期工事の減価償却費が減少した一方で、材料費の増加等により原価率は66.9%（前年比0.6ポイント減）となりました。販売費及び一般管理費は、人材採用や育成、研究開発、修繕費、DX 関連費用などの投資的性質の費用が先行して発生したほか、本社移転や構造改革に伴う一時費用も計上した結果、上昇いたしました。この結果、営業利益は1,277百万円（同38.7%減）となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する中間純利益は907百万円（同51.4%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,975百万円減少し、94,919百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金1,722百万円の減少、売上債権110百万円の増加等により1,681百万円減少し42,518百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、建物及び構築物の減価償却等による567百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による1,509百万円の減少、土地の売却等による843百万円の減少、建設仮勘定1,540百万円の増加等により、1,245百万円減少し44,518百万円となりました。無形固定資産は、127百万円の増加により505百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の時価の変動等による投資有価証券139百万円の減少等により、176百万円減少し7,377百万円となりました。この結果、固定資産は52,400百万円となりました。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,946百万円減少し、21,616百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金677百万円の減少、未払金740百万円の増加、未払法人税等669百万円の減少、未払消費税等781百万円の減少等により、1,020百万円減少し9,361百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済による999百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて925百万円減少し12,254百万円となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益907百万円の計上による増加、剰余金の配当による943百万円の減少、為替換算調整勘定1,225百万円の減少、繰延ヘッジ損益121百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて1,029百万円減少し73,303百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.9%から77.2%へ増加いたしました。

（キャッシュ・フローについて）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより19,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,578百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益を1,242百万円、減価償却費を2,572百万円、投資事業組合運用損を204百万円計上し、仕入債務の減少598百万円、未払消費税等の減少781百万円、法人税等の支払997百万円等がありました。これらの結果、1,509百万円の収入（前年同期は6,373百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,649百万円、有形固定資産の売却による収入895百万円等がありました。これらの結果、672百万円の支出（前年同期は218百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出999百万円、配当金の支払942百万円等がありました。これらの結果、1,942百万円の支出（前年同期は3,592百万円の支出）となりました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約6,120百万円の収入を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、売却等により約4,380百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済及び配当金の支払い等により約3,960百万円の支出を見込んでおります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績、事業環境を踏まえ、2025年4月24日付の業績予想につきましては2025年10月15日に公表しました通り修正しています。

国内事業におきましては、重点施設を中心にその経営課題に応える付加価値提案を積極的に推進し、最重要戦略製品である「プレミアムキット」の訴求を行うとともに、更なる新規顧客獲得活動にも積極的に注力してまいります。これら販促活動を通じて、医療安全を確保しながら、厳しい環境で就労されている医療現場の業務負担を軽減するとともに、手術室の稼働率向上など病院の経営改善までをご支援してまいります。

海外事業におきましては、シンガポールにある販売子会社のホギメディカルアジアパシフィックPTE. LTD. 及びインドネシアの販売孫会社PT. ホギメディカルセールスインドネシアが、シンガポール及びインドネシアを中心にASEAN（東南アジア諸国連合）各国の基幹病院への製品導入を積極的に展開してまいります。

製造原価におきましては、2023年4月より稼働いたしました新キット工場Ⅱ期の投資に伴う償却費が減少する一方、材料費の高騰等により、総額では上昇を見込んでおります。引き続きコスト削減や生産性の改善など原価低減のための企業努力を継続しつつ、製造子会社であるPT. ホギインドネシアにおいても、生産性の改善に取り組み原価低減を目指してまいります。

営業活動の強化に加え、新規部材の上市やDX商材の拡充など、2024年7月16日に公表した中期経営計画に基づくプログラムは概ね予定通り進捗しております。当社は、引き続き中期経営計画の達成を目指すとともに、中長期的な成長を支える構造改革を推進してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

（連結業績予想）

売 上 高	39,240百万円	（前期比 0.3%増）
営 業 利 益	2,770百万円	（前期比 27.3%減）
経 常 利 益	2,590百万円	（前期比 28.9%減）
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	2,030百万円	（前期比 33.5%増）

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,005	20,282
受取手形及び売掛金	7,123	6,613
電子記録債権	4,322	4,942
商品及び製品	4,734	4,584
仕掛品	453	427
原材料及び貯蔵品	4,757	4,919
その他	803	749
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	44,200	42,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,550	20,983
機械装置及び運搬具（純額）	11,736	10,226
土地	9,793	8,949
建設仮勘定	2,226	3,766
その他（純額）	456	591
有形固定資産合計	45,763	44,518
無形固定資産	377	505
投資その他の資産		
投資有価証券	5,982	5,842
その他	1,765	1,727
貸倒引当金	△194	△192
投資その他の資産合計	7,554	7,377
固定資産合計	53,694	52,400
資産合計	97,895	94,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,765	4,087
1年内返済予定の長期借入金	1,999	1,999
未払法人税等	1,041	371
引当金	576	606
その他	1,998	2,296
流動負債合計	10,381	9,361
固定負債		
長期借入金	11,670	10,670
退職給付に係る負債	553	468
引当金	120	96
その他	837	1,020
固定負債合計	13,180	12,254
負債合計	23,562	21,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,294	8,294
利益剰余金	56,552	56,517
自己株式	△3,909	△3,909
株主資本合計	68,060	68,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,154	2,249
繰延ヘッジ損益	112	234
為替換算調整勘定	4,098	2,872
退職給付に係る調整累計額	△102	△87
その他の包括利益累計額合計	6,263	5,270
非支配株主持分	8	8
純資産合計	74,332	73,303
負債純資産合計	97,895	94,919

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	19,619	18,857
売上原価	13,260	12,624
売上総利益	6,358	6,233
販売費及び一般管理費	4,275	4,955
営業利益	2,083	1,277
営業外収益		
受取利息	123	80
受取配当金	49	43
為替差益	87	—
受取賃貸料	56	—
その他	45	28
営業外収益合計	363	153
営業外費用		
支払利息	23	55
為替差損	—	25
貸倒引当金繰入額	161	—
投資事業組合運用損	52	204
自己株式取得費用	46	—
賃貸収入原価	58	5
賃借契約損失引当金繰入額	68	—
その他	0	0
営業外費用合計	410	290
経常利益	2,036	1,140
特別利益		
固定資産売却益	—	104
投資有価証券売却益	1,097	—
特別利益合計	1,097	104
特別損失		
固定資産廃棄損	3	1
減損損失	529	—
その他	—	0
特別損失合計	532	1
税金等調整前中間純利益	2,601	1,242
法人税等	733	334
中間純利益	1,867	907
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	1,867	907

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,867	907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△830	95
繰延ヘッジ損益	△50	121
為替換算調整勘定	1,258	△1,225
退職給付に係る調整額	△6	14
その他の包括利益合計	371	△993
中間包括利益	2,239	△85
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,238	△85
非支配株主に係る中間包括利益	0	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,601	1,242
減価償却費	2,831	2,572
受取利息及び受取配当金	△173	△124
支払利息	23	55
投資事業組合運用損益 (△は益)	52	204
為替差損益 (△は益)	△25	24
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△104
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,097	—
減損損失	529	—
売上債権の増減額 (△は増加)	867	△195
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△168	△226
仕入債務の増減額 (△は減少)	△428	△598
その他	1,373	△419
小計	6,384	2,431
利息及び配当金の受取額	189	130
利息の支払額	△23	△55
法人税等の支払額	△177	△997
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,373	1,509
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,396	△1,649
有形固定資産の売却による収入	—	895
無形固定資産の取得による支出	△34	△78
投資有価証券の売却による収入	1,114	—
その他	97	159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218	△672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	10,000	—
長期借入金の返済による支出	△999	△999
自己株式の取得による支出	△11,622	△0
配当金の支払額	△970	△942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,592	△1,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	644	△473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,206	△1,578
現金及び現金同等物の期首残高	18,623	21,334
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,830	19,756

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。